

## 1. 船橋市の健康づくり・介護予防の施策テーマ

- ①健康寿命日本一
- ②日本一健康で元気なまちづくり
- ③楽しみながら健康づくり・介護予防ができる予防医学の推進

【現行の評価指標】

【新しい評価指標】

## 2. 船橋市のテーマを検証するための全国指標

- ①健康寿命(県・市:毎年であるが市レベルは任意集計)
- ②JAGES(市:3年毎であるがエントリーフィーが必要)
- ③要介護認定者数(率)(市:半年毎)
- ④認知症高齢者数(率)(市:半年毎)
- ⑤平均寿命(県・市:5年毎)
- ⑥年齢調整死亡率(県:5年毎)

## 3. 検証するために必要となるデータ等

- ①健康寿命 → 要介護認定者数
- ②JAGES → 専用の高齢者調査の実施
- ③要介護認定者数(率) → 保険者からの情報提供
- ④認知症高齢者数(率) → 保険者からの情報提供
- ⑤平均寿命 → 国勢調査結果
- ⑥年齢調整死亡率 → 死因別死亡率

## 4. 船橋市の取り組みを日々評価したい! そのためには...

- ①もっと前向きな高齢者指標がほしい
- ②楽しみながら取り組めるセルフマネジメントの確認ツールがほしい
- ③自分自身や地域がどれくらい「健康で元気」かの物差しがほしい

## 5. 船橋市版「健康スケール」を作成する! → 18項目を予定

- ①千葉大学「要支援・要介護リスク評価尺度」(10項目)
- ②ふなばしシルバーリハビリ体操の質の評価指標(3項目)
- ③容易に簡便に高齢者自身で確認できる運動器チェック指標(5項目)

## 6. 健康スケールの健康とは?

- 身体的、精神的、社会的にも健全な状態が保てていること……
- ①身体的状態 → 評価指標にあり
  - ②精神的状態 → 認知機能の低下は基本チェックリストにあり
  - ③社会的状態 → JAGESにあるがまちづくりの指標はない。  
※閉じこもり状態だけでは社会的フレイルではない

## 7. 健康スケールの評価指標

- ①個人の元気度、地域の元気率
- ②65歳以上の5歳刻みで男女別、年齢上限は100歳以上まで
- ③現在の元気度と3年後の元気度  
(例) 73歳男性の元気度:現在57%→3年後の76歳時59%  
76歳女性の元気度:現在70%→3年後の79歳時67%

## 8. 千葉大学「要支援・要介護リスク評価尺度(10項目)の船橋市版(案)

- (案1) 神戸市単独 → 神戸市と船橋市JAGES2016結果のみから船橋市尺度を作成
- (案2) 神戸市単独 → 神戸市とその他中核市以上JAGES2016結果から大都市尺度を作成  
※船橋市版にならない
- (案3) 船橋市単独 → 神戸市と同様の尺度を平成30年度で作成 ※でもJAGESは活用したい

## 9. コホート研究により予防医学の推進+健康スケールのエビデンスを確保する

### ○必要となるデータ

- ①要支援・要介護認定者情報(新規含む) ※エンドポイントとする
- ②国保・後期高齢者の健康診査結果(生活習慣病危険因子)
- ③基本チェックリスト25項目
- ④上乗せ項目:各種がん検診や国保データベースからのレセプトデータ

### ○2. 全国指標に追加する指標

- ①介護費(個人単位含む) ②医療費(個人単位含む)

### ○社会的状態=まちづくりの評価指標がほしい

- ①メディカルタウン構想にも使えるものが必要

全国にはない?  
船橋市で作るか!

健康スケールのエビデンスは?